

中期経営計画

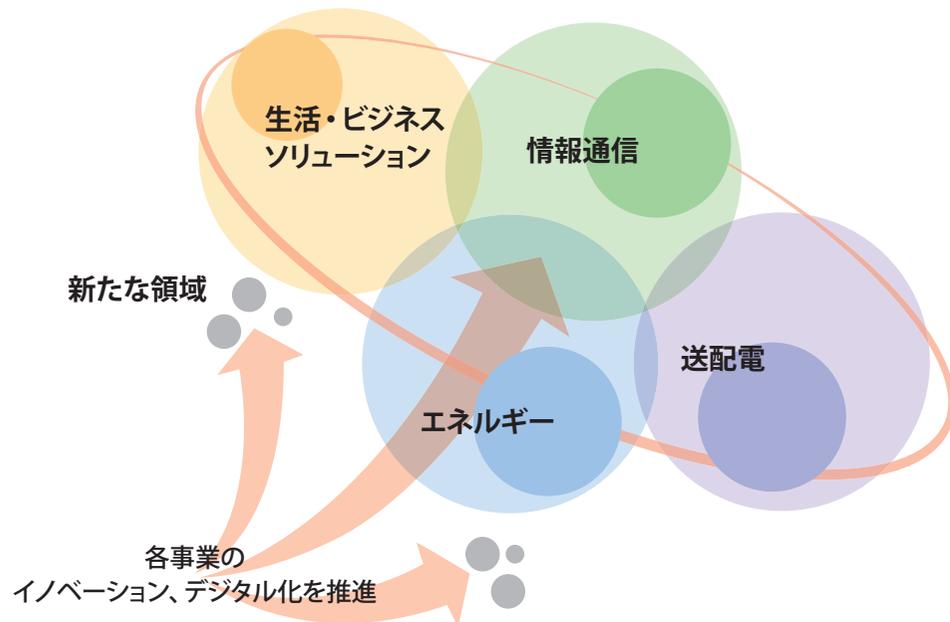
関西電力グループ中期経営計画(2021-2025)

当社は、2021年3月に、変化する事業環境にも対応し、持続的成長を遂げていくため、足元5か年の実行計画として、「関西電力グループ中期経営計画(2021-2025)」を策定しました。

関西電力グループの目指す姿

エネルギー、送配電、情報通信、生活・ビジネスソリューションを、改めて中核事業に据え、その周辺に、その重なり合うところに、新たな価値を創出し続けます。

こうした取組みにより、様々な社会インフラ・サービスを提供するプラットフォームの担い手となり、お客さまと社会のお役に立ち続け、持続可能な社会の実現に貢献することを目指します。



目指す姿の実現に向けた取組みの柱

事業運営の大前提

ガバナンス確立とコンプライアンス推進

金品受取り問題等の反省に立ち、信頼回復に全力を尽くします

取組みの柱

KX: Kanden Transformation

EX

ゼロカーボンへの挑戦

Energy Transformation

脱炭素化の潮流が世界規模で加速し、持続可能な社会の実現への貢献が期待されるなか、関西電力グループ「ゼロカーボンビジョン2050」の実現に向けた取組みを推進します

VX

サービス・プロバイダーへの転換

Value Transformation

従来の大規模アセット中心のビジネスに留まらず、徹底してお客さま視点に立ち、ニーズや課題と向き合うことで、お客さまに新たな価値を提供し続ける企業グループに生まれ変わります

BX

強靱な企業体質への改革

Business Transformation

コスト構造改革やイノベーション、デジタル化、そして働き方改革を加速します

中期経営計画

中期経営計画の進捗状況

2021～2023年度の財務目標(連結)は、いずれも達成しました。

(連結)	実績			実績	財務目標 (2021年3月設定)	
	2021年度	2022年度	2023年度	2021-2023年度	2021-2023年度	2025年度
経常利益	1,359億円	△66億円	7,659億円	3か年平均 2,984億円	3か年平均 1,000億円以上	2,500億円以上
FCF	△1,223億円	△2,898億円	7,269億円	3か年平均 1,049億円	3か年平均 △500億円未満 2021-2025年度合計で黒字化	2,000億円以上
自己資本比率	19.2%	20.4%	25.2%	25.2%	20%以上	23%以上
ROA	1.9%	0.2%	8.9%	3か年平均 3.7%程度	3か年平均 1.5%以上	3.5%以上

(セグメント) 上段: 経常利益 下段: ROA	実績			実績	財務目標 (2021年3月設定)	
	2021年度	2022年度	2023年度	2021-2023年度 3か年平均	2021-2023年度	2025年度
エネルギー事業	706億円	△274億円	5,838億円	2,090億円	黒字	1,300億円以上
	1.2%	△0.0%	7.7%	3.0%	平均0.3%以上	2.0%以上
送配電事業	60億円	△451億円	1,240億円	283億円	平均500億円以上	500億円以上
	0.6%	△1.4%	5.1%	1.4%	平均2.0%以上	2.0%以上
情報通信事業	400億円	430億円	474億円	435億円	平均350億円以上	450億円以上
	12.1%	13.2%	14.4%	13.2%	平均10.0%以上	11.5%以上
生活・ビジネスソリューション事業	196億円	209億円	223億円	209億円	平均150億円以上	300億円以上
	2.6%	2.8%	3.0%	2.8%	平均2.0%以上	3.0%以上

事業運営の大前提 ガバナンス確立とコンプライアンス推進

- 業務改善計画の完遂に加えて、内部統制強化・組織風土改革の取組みを両輪で推進
- 様々な環境変化とリスクへの確実な対応

取組みの3本柱 **KX: Kanden Transformation**

	2021-2023年度(実績)	2025年度(目標)
EX Energy Transformation	原子力7基体制確立や国内外のゼロカーボン電源への投資等、ゼロカーボンロードマップに基づき着実に進捗 CO ₂ 半減 ^{※1} の目標は前倒しで達成見込み 投資実績 累計 6,360億円	投資 1兆500億円 (2021-2025年度累計)
VX Value Transformation	データセンター事業や分散型サービスプラットフォーム事業 ^{※2} 等、将来の収益源となりうる事業を創出 投資実績 累計 690億円	投資 1,200億円 (2021-2025年度累計)
BX Business Transformation	コスト構造改革・バリューアナリシス(VA) ^{※3} 、イノベーション推進、DX推進、人材向上等の取組みが着実に進捗 コスト構造改革実績 2023年度単年 870億円 ^{※4}	コスト構造改革 900億円 ^{※4} (2025年度単年)

※1: 発電によるCO₂排出量(2013年度比)

※2: お客さま・発電事業者等が所有する分散型エネルギーリソースを束ね、最適な市場取引を行うプラットフォーム

※3: 事業部門と計画段階から連携してバリューチェーン上のあらゆる視点から設備投資等を精査

※4: 中期経営計画策定時(2021年3月)の計画値からのコスト削減額

足元の経営環境

社内	<ul style="list-style-type: none"> ● 原子力7基体制の実現やコスト構造改革等による収支の改善 ● 2021～2023年度の財務目標は、いずれも達成
社外	社会 <ul style="list-style-type: none"> ● 資源価格・人件費の上昇等、インフレの顕在化 ● 人材の流動性の更なる高まり、働き方の一層の多様化 ● 生成AIの実用化等、デジタル技術の一層の進展
	エネルギー <ul style="list-style-type: none"> ● 地政学リスクの高まり、市況のボラティリティ拡大 ● 脱炭素化の潮流の一層の加速、国による政策・制度面での整備等が進展 ● GX実行会議での原子力の重要性の高まり ● 長期脱炭素電源オークション制度の導入 ● 再エネ公募案件における競争激化

中期経営計画

中期経営計画(2021-2025)のアップデート

EX・VXの取組みを具現化、また、経営基盤強化に資するBXの取組みを強化し、更なる成長への道筋を確かなものとするため、2024年4月、中期経営計画をアップデートしました。

[WEB](https://www.kepco.co.jp/corporate/pr/2024/pdf/20240430_7j.pdf) 詳細は…関西電力グループ中期経営計画(2021-2025)のアップデート
https://www.kepco.co.jp/corporate/pr/2024/pdf/20240430_7j.pdf

財務目標のアップデート

収支の状況を踏まえ、財務目標をアップデートするとともに、資本収益性を重視する経営を実践すべく、ROICを追加しました。

(連結)	2025年度(2021年3月設定)	2025年度(2024年4月アップデート)
経常利益	2,500億円以上	3,600億円以上
FCF	2021-2025年度合計で黒字化	2021-2025年度 合計で3,000億円以上
	2,000億円以上	1,000億円以上
自己資本比率	23%以上	28%以上
ROA	3.5%以上	4.4%以上
ROIC	—	4.3%以上
(参考) ROE	10%程度	11%程度

各事業セグメントについても、財務目標をアップデートしました。

(セグメント)	2025年度(2021年3月設定)		2025年度(2024年4月アップデート)	
	経常利益	ROA	経常利益	ROA
エネルギー事業	1,300億円以上	2.0%以上	2,750億円以上	3.7%以上
送配電事業	500億円以上	2.0%以上	100億円以上	0.9%以上
情報通信事業	450億円以上	11.5%以上	450億円以上	11.5%以上
生活・ビジネスソリューション事業	300億円以上	3.0%以上	300億円以上	3.0%以上